



# 確認問題 文法の学習

## 要点 1 文章・段落・文・文節・単語 難易度 ★★★

1 次の(1)～(5)の各文の空欄にあてはまる言葉を、あとのア～クからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) □の切れめは、話し口調で読んでみて「ネ・サ・ヨ」が自然

につくところで分けるとよい。

(2) 文章の中での、内容ごとのまとまりのうち、改行し、一字下げで

書き出すものを□といふ。

(3) 文の終わりには□がつくのがふつうであるが、感嘆符(！)

や疑問符(？)がつくこともある。

(4) □とは、たがいにつながりをもつた文の集まりのことで、筆

者や話し手の考え方を感じたことを述べた一まとまりの表現である。

(5) 言葉を、意味や働きの上から分けたときの最小単位を□によ

ぶ。これを文法上の性質によって分類したものを見るこという。

ア 文章 イ 文法 ウ 形式段落 エ 意味段落  
オ 文節 カ 単語 キ 読点(、) ク 句点(。)

□	□	□	□	□
---	---	---	---	---

3 例にならって、(1)～(5)の各文を、それぞれ文節に分けなさい。

例 きょうは、一きのうより一だいぶ—あたたかい。

(1) 午後から、雨が降る。

(2) あの人も、ぼくと同じ中学生だ。

(3) 春になつたら、庭にたくさん花の苗を植えよう。

(4) 山の上は、吹き渡る風もさわやかである。

(5) 清流には、鮎らしい魚がすいすいと泳いでいた。

4 例にならって、(1)～(5)の各文を、それぞれ単語に分けなさい。

例 月一が、一庭一を一明るく照らした。

(1) 明日、友人が私の家へ来る。

(2) 四時から委員会を開きます。

(3) 外国に住むおじさんが手紙をくれた。

(4) 常識が必ず正しいと決まっているわけではない。

(5) その時、私は図書室で本を読んでいました。

(とやましげひこ)  
外山滋比古「日本語の個性」による

□
---

つ

日本語は短歌、俳句といった世界に類のすくない短詩型文学をはじめ、文学の表現手段としてはすぐれた適性をもつてゐるもつともその半面、科学的、哲学的な思考表現には日本語は不適当であるという意見が、ごく最近もノーベル賞受賞物理学者から提出されたこれについては、日本語に関心をもつ人々によつて理性的な討論が行われることを望みたい

学習した日	（ ）分
学習した日	（ ）分

## 要点2 文の成分

難易度 ★★

要点

- 1 次の各文の——線部の文節は、文の中でどのような成分となっていますか。あとどのアーチから選び、記号で答えなさい。(同じ記号を何度も選んでもよい)こととします。)

(1) 当分、寒い日が続く。

(2) 蒸し暑いから、寝苦しい。

(3) たくさんの人々が集まつた。

(4) はい、わかりました。

(5) もつとゆっくり歩こう。

(6) 十時に出発です。

(7) 雨が降りそうだ。しかし、かさを持つてこなかつた。

(8) その絵には、半分食べかけのリンゴがえがかれています。

ア 主語 イ 述語 ウ 連体修飾語 エ 連用修飾語  
オ 接続語 カ 独立語

- 2 次の(1)～(3)の各文の——線部の文節が係つていてる文節を抜き出して( )に書きなさい。また、その文節と——線部の文節とは、どんな関係になっていますか。

あとのアーチからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 自分の気持ちを、はつきり伝えなさい。

( ) ( ) ( )

(2) 毎年、コスモスがここにたくさん咲く。

( ) ( ) ( )

(3) 思つていることを、素直に書く。

( ) ( ) ( )

- (1) ——線①の部分は、次のどれにあてはまりますか。記号で答えなさい。
- (2) ——線②の部分が全体として係つていくのはどの文節ですか。一文節を抜き出して書きなさい。

( )

- 3 次の(1)～(4)の各文から、並立の関係になっている文節をあるだけ抜き出して書きなさい。

(1) 円は、コンパスを使ってかいたほうが、きれいで正確だ。

( ) ( ) ( ) ( )

(2) オリオンやカシオペヤは、冬の空の代表的な星座である。

( ) ( ) ( ) ( )

(3) 太郎、次郎、ちょっと( )に来て座りなさい。

( ) ( ) ( ) ( )

(4) わが家は、祖父と祖母と、父と母と姉とぼくの六人家族です。

( ) ( ) ( ) ( )

- 4 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

通勤や通学のための時間は、ほとんど毎日、規則的にまた強制的に割り当てられるものであるから、語学には実によく向いている。そして窓の外や車内の広告を見ながら例文の暗記をするのは、家に帰つて机の前に向かうよりも、ずっとよいものである。  
(渡部昇一「知的生活の方法」による)

- (1) この文章は二つの文でできています。初めの文の主部を抜き出して書きなさい。

( )

- (2) ——線①の部分は、次のどれにあてはまりますか。記号で答えなさい。

ア 主部 イ 述部 ウ 修飾部  
エ 接続部 オ 独立部

- (3) ——線②の部分が全体として係つていくのはどの文節ですか。一文節を抜き出して書きなさい。

( )

ア 主語・述語の関係 イ 修飾・被修飾の関係  
ウ 並立の関係 エ 補助の関係